

## 「マンホールカード制作書 作成の手引き」

マンホールカード制作においては、「**マンホールカード制作書**」(以下:制作書)及びそれに付随する「写真」や「デザイン図」等の提出が必要となります。

マンホールカード制作は皆様の記載を基本とします。十分注意して作成ください。

つきましては、本手引きを参考に申請に必要な写真、書類等のデータのご提出をお願い致します。

本「作成の手引き」の内容に合致するよう、GKP事務局が申し入れをさせていただく場合があります。それでもなお期限までに、内容が不十分な場合や、ご記載いただけない項目がある場合には、マンホールカードの制作ができなくなりますので、十分にご注意ください。

### 1. マンホールカード（完成品イメージの確認）

制作書を作成するにあたり、まずは完成品（特に各項目）のイメージを資料-1「**マンホールカードの各項目について**」でご確認ください。制作書には、この各項目に必要な内容をご入力～ご提出頂きます。ご入力頂く内容が、どの部分に該当するのかわかるための資料としてもご活用ください。

※『GKPにて管理』となっている項目は、ご入力不要です。

### 2. マンホールカード制作書の作成手引き

以下の手引きと資料-2「**マンホールカード制作書入力例(サンプル)**」を参考に制作書を作成ください。

#### 1) 基本情報

##### 申込日

メールでご提出頂く日付をご入力ください。

##### 担当者

ご担当者名をフルネームでご入力ください。

##### 連絡先

ご担当者の電話番号を市外局番よりご入力ください。17 時以降でもつながる番号を記載して頂ければ幸いです。

#### 2) 制作書入力項目

##### ① 都道府県名

③の蓋の所在地の都道府県名をご入力ください。

##### ② 市区町村名

③の蓋の所在地の市区町村名をご入力ください。

流域下水道の場合は、処理区分ごとの名称ではなく「流域下水道」としてください。

##### ③ マンホール蓋の写真

地方公共団体が保有する下水道用マンホール蓋(供用されている「下水道事業」で使用されているものに限定しています)を選んで写真を撮影いただき、指定のファイル形式のデータでお送りください。撮影時には、蓋をなるべく綺麗な状態にして頂くことをお願いしております。資料-3「**マンホール蓋撮影ガイド**」をご参考ください。

- ※ ⑤で設定する位置座標に設置もしくは展示されているマンホール蓋を撮影してください。
- ※ Φ600 サイズのマンホール蓋が対象です。
- ※ 実在しているマンホール蓋であれば路上に設置されていない展示品等でもご応募いただけますが、路上に一度も設置した実績がないデザインのマンホール蓋は対象といたしません。ただし民間企業の会社名や民間企業の会社ロゴが大々的にデザインされたものは除外してください。
- ※ カード保有者が現場を訪れることが考えられますので、車道設置のマンホール蓋は避けてください。また、マンホール蓋の見学・確認などにおいて、当該土地への立ち入りが、土地所有や土地使用などにより所有者や使用者などの了解が必要となるマンホール蓋の登録は避けてください。
- ※ 写真は、カード作成のために改めて撮影したものをご提出願います。やむを得ず既にお持ちの写真をご提出頂く場合は、著作権を持っている撮影者等の許可を得るなど、著作権の関係を整理された上で提出願います。
- ※ 高画質のデータが必要です。データを A4 で印刷したときにボヤケない程度を基準とします。

#### ④ ピクトグラム（デザインカテゴリー）

③の蓋のデザインが、どのような絵柄を組み合わせで構成されているかを全国統一マークで表すものです。例えば栃木県流域下水道の蓋のデザインは、栃木県のマスコットキャラクター「とちまるくん」と栃木県の木「とちの木」を組み合わせでデザインされたものですので、「キャラクター」及び「木」が該当します。資料-4「**ピクトグラム参考資料**」をご参考に、④のデザインが該当する項目の下の欄に丸をつけてください。

ピクトグラムは、絵柄で楽しめるユーザーを意識したものです。これまでに発行されている同ピクトグラムのカードを参考に設定してください。

#### ⑤ 位置座標

③の蓋がどこに実在しているのか、北緯及び東経で示しますので、資料-5「**位置座標設定ガイド**」を参考に、蓋の位置の北緯と東経をご入力ください。また、蓋のある場所の住所（丁目、番地まで詳細に）を入力してください。

※記入後、必ず位置座標が登録申請するマンホールの位置を示すことを確認してください。

#### ⑥ マンホール蓋のデザイン図

③の蓋のデザイン図を、指定したファイル形式のデータでお送りください。

デザイン図とは、③の蓋のイラスト（図面）です。③の蓋と文字や配色など細かい部分まで同じものを提出してください。尚、③の蓋がカラーの場合は、デザイン図もカラーとなります。

お手元に無い場合はマンホール蓋の製造元（メーカー）から取り寄せていただくか、書き起こしてください。

※ 高画質のデータが必要です。データを A4 で印刷したときにボヤケない程度を基準とします。

#### ⑦ 設置開始年

③の蓋タイプが最初に設置された年を西暦でご入力ください。

※ 色付きと色無しは別タイプとなります。荷重や文字違いは同一タイプとなります。

※ 年度表記ではありませんのでご注意ください。

例) 2019 年 2 月設置の場合 【 ○ 2019 年 × 2018 年 】

#### ⑧ デザインに関する画像

③の蓋のデザインが、どのような内容を組み合わせで構成されているかを、絵や写真で表すものです。例えば栃木県流域下水道の蓋のデザインは、栃木県のマスコットキャラクター「とちまるくん」と栃木県の

木「とちの木」と、背景にはイチゴのカラーをイメージしたピンク色を組み合わせでデザインされたもので、それぞれの実物写真や絵を掲載しています。写真や絵を、指定したファイル形式のデータでお送りください。

4点までを推奨いたします。また、写真や絵の説明(キャプション)を、ご入力ください。

※ 高画質のデータが必要です。データを A4 で印刷したときにボヤケない程度を基準とします。

## ⑨ デザインの由来・説明

③の蓋のデザインの説明文を、255文字～275文字で作成してください。(英数字は半角で統一してください。)「マンホールカード」ですので、マンホールデザインの説明についてご入力ください。デザインに関係の無い内容は避けて頂きますようお願い致します。下水道に由来するご当地ネタは構いませんが、あくまでもデザインの由来をメインとして下さい。一般的な下水道の説明は避けて下さい。

※ 他の媒体の文章をそのまま使用することは、著作権上問題になるため、避けて下さい。

※ 特定の企業や製品を紹介するような文章は記載できません。

※ 文章は、必ず、ですます調をお願いします。

※ 平易な表現と漢字を極力用い、どうしても使わざるを得ない難読漢字(地名、人物名など)については、カッコ書きで振り仮名をふってください。(例:放出(はなてん))

※ 資料-6「**マンホールカード参考デザイン**」をご参考ください。

※ 文章は、そのまま掲載されますので、十分に注意して作成してください。

## ⑩ QRコード

カードにリンクしたいリンク先の URL をご入力ください。リンク先の選定は自由です。マンホールカードは広報用パンフレットですので各地方公共団体のホームページ、カードの説明ページ、観光案内ページなどを推奨していますが、効果的に活用できると考えられるものを優先していただいかまいません。

## ⑪ 配布場所

マンホールカードに記載する配布場所は主たる配布場所とします。

主たる場所の名称を 18 文字以内でご入力ください。

## GKPのホームページ内に表記する特記事項

マンホールカードの配布場所等については GKP ホームページ内でも案内します。記載希望内容についてご入力ください。ただし、GKP ホームページでは、「発行都市名」、「弾数」、「発行年月日」、「常設の配布場所」に限定し、その他の詳細については各地方公共団体のホームページをご覧ください。リンクを貼って閲覧者を誘導します。そのため、在庫状況やイベント配布等の情報については各地方公共団体のホームページで発信してください。GKP ホームページには、各地方公共団体のホームページへのリンクを貼りますので URL をご記入願います。

平日配布と土日配布場所等が異なる場合には、分けてご記入ください。

## 【参考】

